

安倍首相の要請発言を受けて、自動車・弱電等、大手企業の春闘の回答では、満額や上乘せ回答が相次いだ。調子に乗って一時金まで出すカーメーカーがもてはやされている。非常に喜ばしいと思う反面「これでいいのか。順序が逆ではないのか」の思いが頭を駆け巡る。

【輸出企業はアセンブルメーカー(真のモノづくりは中小部品メーカー)】

自動車・自転車・家電メーカーは企画開発とマーケティング・アセンブル産業である。個々の部品を造るのは系列メーカーや外注と言われる下請け製造会社である。これ等の企業に納入する素材や副資材業界の環があつてこそ成り立っているのだ。120円から75円台に至る円高局面の数年間、「円高不況に協力せよ」「購買はドルベースであるから納入価格はドルリンクで協力せよ」と迫られ、泣く泣く従ってきた中小零細業者や加工メーカー・納入業者が多い。また原材料生産と販売業者も何時かきつと加工賃や納入価格の回復時期が来ると信じて「仕事を切られるより継続する」ため、人員整理や経営者自らの給与カットはもちろん、雇用調整金を受給しながら必死で、再投資が出来ない程の受注単価を強要されてきた事実がある。なかには、自社工場の売却・倒産・廃業に追い込まれ、従業員は解雇で失職した例が身近にある。東大阪・東大田区の工場数が大幅減少しているという現実。社長は年金があるから給料辞退、社員は休業補償とリストラ賃金カットでは企業経営と言えるのだろうか。

【円安還元は製造者ごと】

一方安倍首相の要請もあり「円安で数十億の利益回復につながるから、この際従業員に還元しよう」となり、良い事づくめの報道になるのだが、喜んでばかり居られない。まずは「これまで血の汗を流し、再投資の意欲さえ無くすほどのコスト削減に協力してきた、外注先や下請企業・原材料生産納入業者に然るべき還元策すなわち価格は正の還元がなされるべきと思う。このまま大手の賃金や待遇改善のみに還元策が終始するならば問題である。」「この国からモノづくり産業は回帰しどこか消え失せるのではないか」「超円高を乗り切れたのはこの誰の犠牲においてなし得たのか」「均衡の取れたデフレからの脱却は如何にあるべきか」「真の雇用の拡大は如何なる方法があるのか」等々、問題を提議したい。TPP参加大いに結構だが、ばら撒き補助金とか雇用調整金等で対策を取るのでは効果は一時的、まして

提 言

西居 厚氏 (株)信光ステンレス会長

為替益の還元はこれで良いのか？ 系列・下請け企業にも還元策を！

や大手企業の自社社員の待遇改善回復をやる前にやるべきことがあるのではないかと。それは、組み立て輸出産業を支えている中小製造業への為替益の還元こそ目下の急務ではないか。製造業が息絶えてからでは遅すぎる。電力値上げや輸入副資材の値上げが迫っている今こそ政治・官僚・産業界が協力して将来を睨んだ産業構造のあるべき姿を追求するべきだ。現実問題を例示しよう。

《例》

「ある自動車・大手電機メーカーへの一本の特殊耐熱ステンレス大型ボルトの納入価格(これが現実)。1\$=1100円レート時は1本100円が家電自動車関連メーカーへの納入価格。1\$=76円レート時は1本75円にしないと全て海外に発注する」

泣く泣く価格引き下げにせざるを得なかった。原材料は為替価格連動が無く諸経費は上昇。電気料金・光熱費・輸入素材の値上がり必至を受けて、供給側への配慮がなされるべきだ。円高を理由に納入価格削減を押しつけた側が円安局面で、「知らぬ、存せぬ」で通せると考え、身内の賃上げと賃与積み上げを手柄に報道するのは、「無理が通って道理が通らぬ」ことにならないのか。きつと将来に禍根を残すことになる。正規社員の契約社員化、現場社員のパート化、人員削減の犠牲に耐えてきた企業経営者の身にもなつてほしい。今問われているのは、バランスある社会のありようだと思う。新生自民党政治に求められるのは、声なき声に耳を傾け、「努力の報われる社会の実現」に向けた強力なリーダーシップだと思う。

【真の製造業者は声を上げよう。少しは発注単価は正を】

雇用調整金・経営者の給与辞退(年金受給)・リストラによる企業経営は果たして社会に貢献していることになるのか。むしろ社会発展を阻害し社員の幸福を奪っていることにならないか。考えてみる時期に至っている。素材産業は高炉や大手企業は「国際競争力の強化」を謳い、合従連衡を繰り返して価格競争を避けている現実、電力や運賃・燃料費と副資材の高騰は待たない。いまこそ無意味な過当競争を回避し、再投資と再生産の可能な受注単価の実現こそ求められる。「優秀な部品メーカーなくしてこの国は成り立たない」事を自覚自負して勇気を持って価格の改定(為替益の還元を実現し、所属社員の幸福を真剣に考えるべき時だ)と思う。(筆・西居厚氏・信光ステンレス会長)

内需は10カ月連続の減少と一億円、コンクリート機械71加の38億円、コンクリート

SCM435

大径*長尺サイズキャップスクリュー

M3X110.M4X150. M5・M6X250L まで

2012年
出荷金額の総
149.5億円
減少となり、
少となった。
%増加の7。
需は18.8%

ねじ・ばね業界の
と言えば…?